

新町・古町地区では、歴史的建造物と一体となった公民連携のまちづくりを推進しており、その取組のひとつとして明八橋前～唐人町通りの道路空間の整備を予定しています。この「唐人町通りみちづくりニュース」では、道路整備事業の進捗や、ワークショップの様子などを地域の皆さんにご報告していきます。

## 第2回唐人町通りみちづくりワークショップを開催しました！

### 第2回ワークショップの開催概要

新型コロナウイルスの影響により延期となっていた唐人町通りみちづくりワークショップを開催しました。2回目となる今回は、前半部は「**道路計画（基本案）をみんなで考える**」について、後半部は「**道路の使い方をみんなで考える**」をテーマに話し合いました。

日時：令和4年4月27日（水）19時～

場所：五福まちづくり交流センター

参加人数：14名



### 当日の流れ

**道路計画（基本案）の説明**  
事務局より、これまでの議論の振り返りや、地元のみなさんの意見を踏まえた道路計画（基本案）の説明を行いました。



### 【前半部】

**意見交換：道路計画（基本案）をみんなで考える**

道路計画案（基本案）を踏まえ、模型を囲んで意見交換を行いました。



### 【後半部】

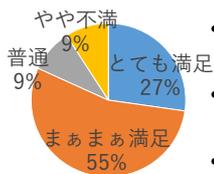
**グループワーク：道路の使い方をみんなで考える**

3班に分かれ、活用シーンを具体的に考えながら、「唐人町通りならではのライフスタイルとは何か」を考えました。



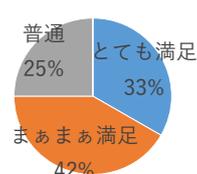
### 参加者の声（参加者アンケートを実施しました！）

#### ■参加者満足度（前半部）



- ・ 住民の方ならではの意見がたくさん聞けた。
- ・ 活発な意見がたくさん出て有意義であった。
- ・ 段階的に議論ができればと感じた。

#### ■参加者満足度（後半部）



- ・ 様々な視点の意見が聞けた。
- ・ もう一歩ふみこんで安全面と使い方について考えてもいいかなと思う。

#### ■その他自由記述

- ・ 五福校区の他の通りにも展開できるような試みであってほしい。
- ・ 地域の活性化につながるきっかけになるといい。
- ・ 魅力的な店舗や、資源がある中でそこの活動のにじみ出しを生ませること。

### 第3回は、夏頃開催予定です！

次回は、道路の詳細のデザインや、道路の活用の仕組みなどについて話し合う予定です。熊本市HPは詳しくは、回覧板によるお知らせや熊本市HPをご確認ください。 [こちら⇒](#)





意見交換：道路計画（基本案）をみんなで考える

前回ワークショップやその他いろいろな場面でみなさんから頂いたご意見・アイデアを踏まえ、道路計画（基本案）を提案しました。この基本案の模型を囲んで、様々な視点から意見交換を行いました。

道路計画（基本案）※

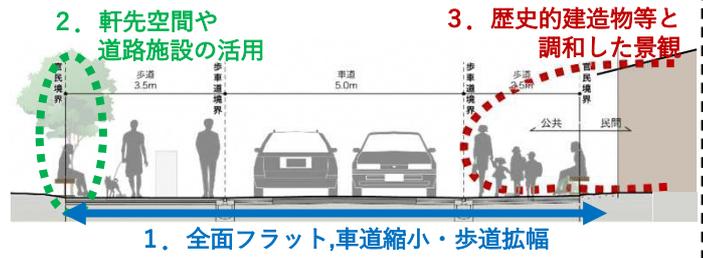
【コンセプト（案）】

熊本を代表する通りとして、400年の城下町の姿を継承し、100年先の未来へつづく、唐人町通りならではのライフスタイルを創るみち

【整備のポイント】

- 1. だれもが安全・快適で歩きたくなるみち**  
・歩車道を全面フラット化し、車道を縮小・歩道を拡幅することで、人が活動しやすいみちを創出
- 2. 散歩したくなるみち**  
・官民連携の植栽帯やベンチ、パラソルなどで、憩いやにぎわいのある軒先等を活用した沿道と一体となったみちを創出
- 3. まちの歴史を活かした質の高いみち**  
・沿道の歴史的建造物等の景観性に配慮し、高耐久で高質なみちを創出

▶ 検討模型



※道路計画（基本案）：地元アイデア・意見を反映した現時点のたたき台。今後、地元意見や関係機関協議等を踏まえ、ブラッシュアップ予定。

主な意見	今後の課題、検討が必要なこと
歩行者中心のみちの考え方や、石舗装などの <b>全体のデザインの雰囲気は良い</b> 。	<b>安全性や歩きやすさを考慮したデザイン</b> にしている必要がある。
<b>車道は狭い方が事故が少ない</b> と思う。	デイケアの送迎車等の停車スペースなどの <b>機能は確保</b> する必要があるのではないか。
<b>全面フラット</b> にすると、車いすやベビーカーは <b>通行しやすい</b> と思う。	段差がないと、視覚障がい者にとって <b>歩道の境界がわからなくて危ない</b> のではないかと。
夏場は暑くて歩けないので、 <b>歩道に木陰</b> があったほうが良い。	落ち葉などの <b>維持管理、樹種、植栽の配置やスペース</b> についても考える必要がある。



グループワーク：道路の使い方をみんなで考える

グループワークでは3班に分かれ、唐人町通りの活用シーンを具体化しながら、「唐人町通りならではのライフスタイル」について意見交換を行いました。ここでは、各班から出た代表的な意見を紹介します。

A班 忙しくない、よりみちしたくなるみち	B班 木陰のある、散歩したくなるみち	C班 子どもが遊びに来る通り
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店のお客さんや顔見知り同士の<b>目線のやりとり</b>、通り過ぎるだけでなく<b>一呼吸があること</b>が、このまちの<b>いいところ</b>。</li> <li>・通りを<b>横断するつながり</b>づくり。</li> <li>・みちと店先のギャラリーが親和し、<b>見て歩いて楽しいみち</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し<b>涼しく感じるみち</b>。<b>木陰や軒先のベンチ</b>で休憩できるみち。</li> <li>・<b>ベビーカーや車いす</b>にとっての<b>歩きやすさ</b>を考え、石舗装は、目地につまづかないように工夫。</li> <li>・<b>にぎわい</b>に見える化。パラソルは、行ってみたいくなるきっかけになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが遊びに来ない。みちに対する<b>子どもの親しみや愛着を育む</b>。</li> <li>・いかに<b>歩きたくなる工夫</b>をするか。坪井川沿いと唐人町通りをつなぎ、<b>一周できる散策コース</b>に。</li> <li>・歩きたくなるみちをつくるためにも、<b>木陰</b>があった方がいい。</li> </ul>

星野先生（熊本大学・熊本市景観審議会委員）コメント

- 城下町の歴史や暮らしが伝わる古町・新町が、**熊本の魅力**になっていく。
- シャワー通りや並木坂など、**歩行者優先のみちづくり**の伝統が熊本にはある。
- **安全性**についての議論は**大変重要**である。



吉城先生（熊本大学・交通工学専門）コメント

- 神門通り（出雲市）では、歩車道をフラットにすることでドライバーがゆっくりした走行を心がけ、速度が3~5 km/h落ちた。
- 安全性については、**社会実験で検証**してはどうか。

